

投信概況 (2025年12月)

2026年1月

モニタリング&エバリュエーションチーム

藤原 崇幸

本稿では、ETF を除く国内籍公募追加型株式投資信託について資金動向をまとめた。図表 1 に純資産総額と純流出入額の直近 1 年間の推移、図表 2 に当月（2025 年 12 月）の GW 分類の大分類別資金動向、図表 3a に GW 分類の大分類別の純資産総額シェア、図表 3b に当月の GW 分類の大分類別純流出入額を示す。

なお、本稿で示す純流出入額のうち、当月分は当社の推計値、その他の月は投資信託協会の公表値を使用した。

～当月は約 1.6 兆円の純流入、純資産総額は 174 兆円台と過去最高を更新～

当月を振り返ると、まもなく 4 年となるロシアのウクライナ侵攻や日中間の政治的な緊張が依然として続く中、2025 年末の日経平均株価は 5 万円を維持し、NY ダウも最高値圏で取引を終えた。一方、日本の 10 年物国債利回りは年末にかけて上昇し、一時 2.1% に達するなど約 26 年ぶりの水準となった。このような市場環境の中、当月末のファンド全体の純資産総額は、前月末から 3 兆 80 億円増の 174 兆 923 億円となり、過去最高を更新した。また、当月の資金フローは 2 年 7 カ月連続の純流入となり、純流入額は 1 兆 5,987 億円であった。

資金動向を GW 分類¹の大分類別に純資産総額の推移でみると、「グローバル株式（ヘッジなし）」や「国内株式」を中心に純資産総額は前月から大きく増加した。増加額が最も大きかったのは「グローバル株式（ヘッジなし）」で、前月末から 2 兆 2,255 億円増の 99 兆 2,615 億円であった。また、当月も純資産総額の増加率が最も高かった「コモディティ」は 2,327 億円増の 3 兆 155 億円となり、純資産総額が初めて 3 兆円に達した。

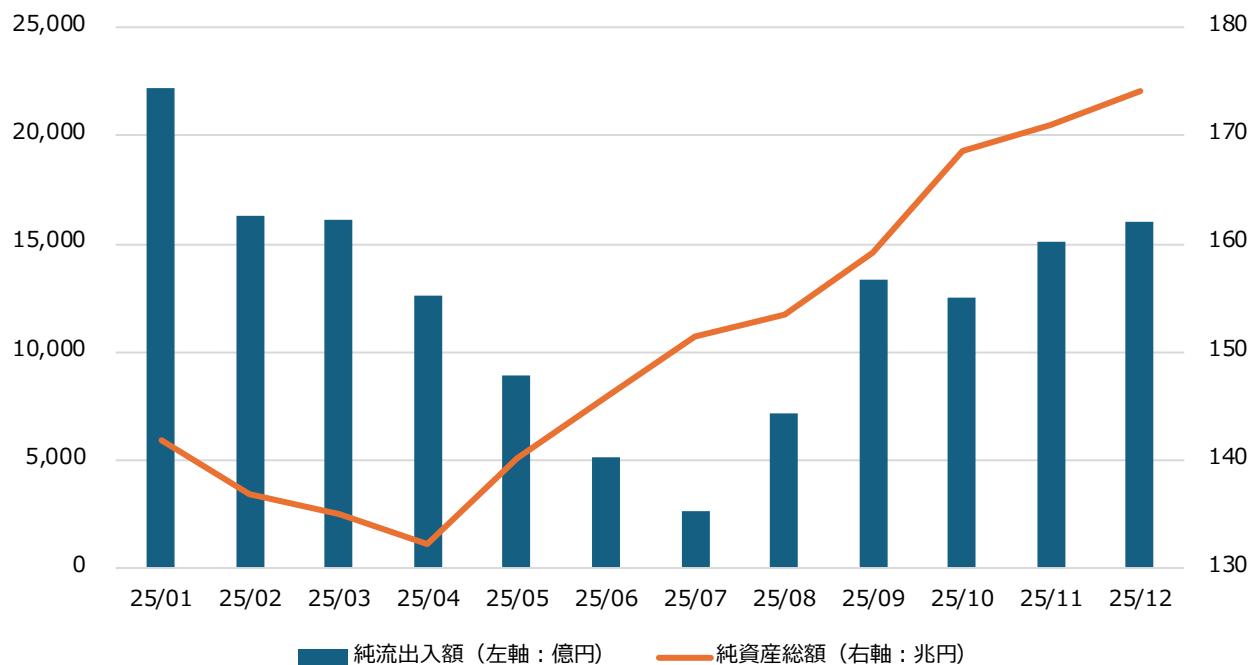
純流出入額でも「グローバル株式（ヘッジなし）」が 5 年 6 カ月連続の純流入と好調を維持しており、当月の純流入額は 1 兆 649 億円と 2025 年 3 月以来の 1 兆円台となった。「グローバル株式（ヘッジなし）」をさらに細分化した集計では、インデックスファンドへ 8,249 億円の純流入と分類内で相対的に高水準の流入を継続している。一方、2025 年春ごろまで純流入が続いている米国株式に投資するアクティブファンドは、10 月から純流出が続き、当月も 59 億円の純流出であった。

当月の個別ファンドの資金流入ランキングをみると、「eMAXIS Slim 全世界株式（オール・カントリー）」は 2,867 億円の純流入があり、「eMAXIS Slim 米国株式（S&P 500）」は純資産総額が 10 兆円目前となっている。

¹ SMBC グローバル・インベストメント＆コンサルティングが独自に定めたファンド分類のこと。すべての国内籍追加型株式投資信託を対象とし、目論見書の記載事項をベースに、投資対象、投資地域、運用方針、投資手法に着目して分類を行っている。

【SGIC リサーチレビュー】

図表 1 純資産総額と純流出入額の直近 1 年間の推移（月末基準）



（出所）投資信託協会よりSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング作成

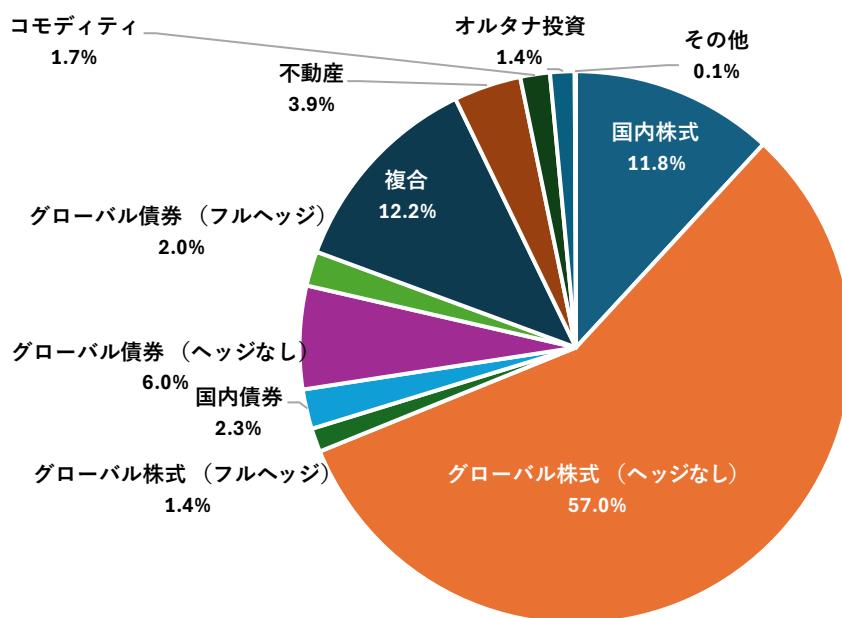
図表 2 2025 年 12 月の GW 分類 大分類別資金動向（億円）

GW分類 大分類	純資産総額				純流出入額 25/12
	25/11末	25/12末	増減額	増減率	
国内株式	202,552	206,190	3,638	1.80%	2,257
グローバル株式（ヘッジなし）	970,360	992,615	22,255	2.29%	10,649
グローバル株式（フルヘッジ）	24,277	24,163	-114	-0.47%	-304
国内債券	40,792	40,363	-429	-1.05%	193
グローバル債券（ヘッジなし）	104,430	105,173	743	0.71%	449
グローバル債券（フルヘッジ）	35,427	35,266	-160	-0.45%	-16
複合	209,120	212,173	3,053	1.46%	2,089
不動産	69,914	68,614	-1,300	-1.86%	-415
コモディティ	27,827	30,155	2,327	8.36%	1,242
オルタナ投資	24,858	24,928	70	0.28%	-149
その他	1,289	1,284	-5	-0.38%	-8
合計	1,710,843	1,740,923	30,080	1.76%	15,987

（出所）投資信託協会よりSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング作成

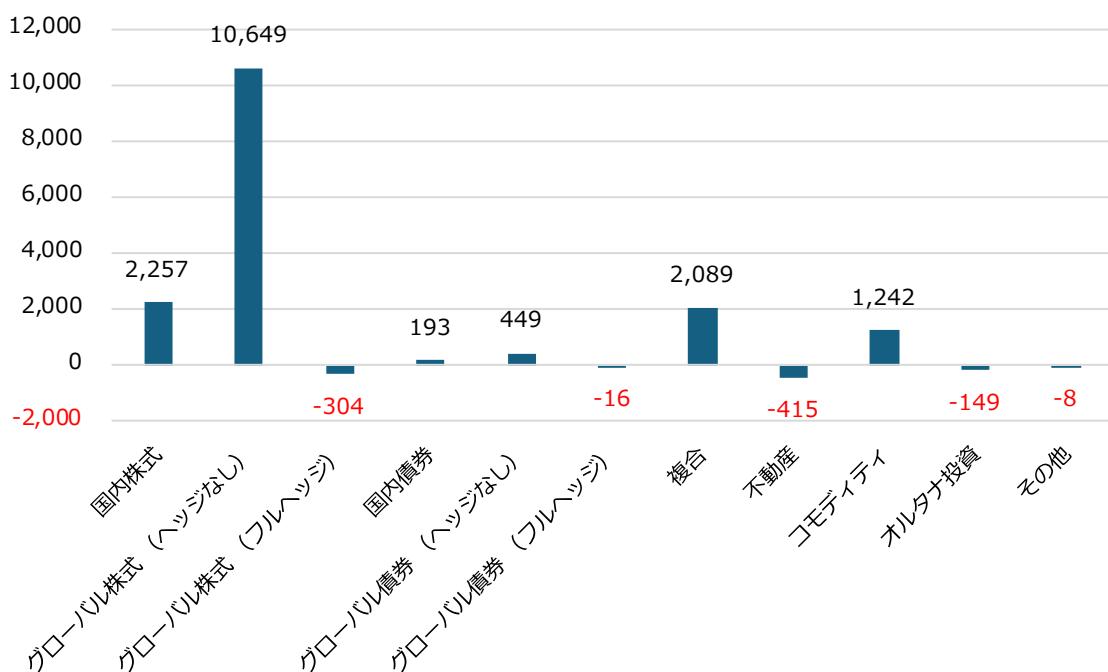
【SGIC リサーチレビュー】

図表 3a GW 分類 大分類別の純資産総額シェア（2025 年 12 月末基準）



(出所) 投資信託協会よりSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング作成

図表 3b 2025 年 12 月の GW 分類 大分類別純流出入額（億円）



(出所) 投資信託協会よりSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング作成

【SGIC リサーチレビュー】

Appendix

図表 I GW 分類 大分類別の純資産総額と純流出入額の直近 1 年間の推移（月末基準、億円）



(出所) 投資信託協会より SMBC グローバル・インベストメント＆コンサルティング作成

【SGIC リサーチレビュー】

図表Ⅱ 2025年12月の純流入ランキング10

No.	ファンド名	運用会社	純資産総額 (億円)	純流出入額 (億円)	NISA つみたて	成長
1	eMAXIS Slim 全世界株式（オール・カントリー）	三菱UFJアセット	90,420	2,867	○	○
2	eMAXIS Slim 米国株式（S&P500）	三菱UFJアセット	98,365	1,619	○	○
3	インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）	インベスコ	31,179	1,354		
4	フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド Dコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし）	フィデリティ	7,651	1,121		
5	資本効率化フォーカス・ジャパン	三井住友DS	603	594		
6	フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド Bコース（為替ヘッジなし）	フィデリティ	4,238	483	○	
7	iFreeNext FANG+インデックス	大和アセット	10,047	426	○	○
8	ROBOPROファンド	SBI岡三	2,330	424	○	
9	ピクテ・ゴールド（為替ヘッジなし）	ピクテ	8,348	420	○	
10	ティー・ロウ・プライス キャピタル・アプリケーション・ファンド Bコース（為替ヘッジなし）	ティー・ロウ	2,297	354	○	

(出所) 投資信託協会より SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング作成

図表Ⅲ 2025年12月の純流出ランキング10

No.	ファンド名	運用会社	純資産総額 (億円)	純流出入額 (億円)	NISA つみたて	成長
1	グローバル・エクスボネンシャル・イノベーション・ファンド	アモーヴァ	2,840	-203	○	
2	グローバルESGハイクオリティ成長株式ファンド（為替ヘッジなし）	アセットOne	10,389	-170	○	
3	アライアンス・バーンスタン・米国成長株投信Bコース（為替ヘッジなし）	アライアンス	18,660	-165	○	
4	たわらノーロード 外国債券（為替ヘッジあり）<ラップ専用>	アセットOne	166	-142	○	
5	グローバル・プロスペクティブ・ファンド	アモーヴァ	3,645	-126	○	
6	フィデリティ・世界割安成長株投信 Bコース（為替ヘッジなし）	フィデリティ	9,339	-126	○	
7	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	三菱UFJアセット	2,471	-118	○	
8	デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド	アモーヴァ	2,583	-114	○	
9	たわらノーロード 国内債券<ラップ専用>	アセットOne	131	-112	○	
10	たわらノーロード 外国債券（為替ヘッジなし）<ラップ専用>	アセットOne	83	-111		

(出所) 投資信託協会より SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング作成

(END)

【SGIC リサーチレビュー】

本資料について

【免責事項】本資料は情報提供を目的としてSMBCグローバル・インベストメント＆コンサルティング株式会社(以下「SGIC」といいます)が作成したものであり、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づき作成されていますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に示された見解や予測は、資料作成時点でのものであり、事前の通知なしに変更することがあります。本資料は SGIC の著作物です。ただし、本資料で使用している指標等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指標等の開発元または公表元に帰属し、SGIC による当該指標等の使用について当該開発元または公表元は一切責任を負いません。詳細は <https://www.smbc-gic.co.jp> でご参照いただけます。投資に関する最終的なご判断は、お客さまご自身でしていただきますようお願い申し上げます。なお、本資料で使用したグラフおよび数値は、過去の実績であり、将来の結果を約束するものではありません。

【SGIC が行う金融商品取引業に係る留意事項】 SGIC は投資一任業務及び投資助言業務を営んでいます。SGIC が、投資一任契約に基づき投資する及び投資顧問契約に基づき助言を行う金融商品または金融派生商品は、金利・通貨の価格・金融商品市場における相場その他の指標の変動により損失が生じる恐れがあります。

変動要因としては、有価証券等の価格変動リスク、金利や金融市場の変動リスク、十分な流動性の下で取引が行えない流動性リスク、有価証券等の発行体の信用リスク等、及び外貨建て資産に投資している場合には為替変動リスクがあります。したがってお客さまの投資元本は保証されているものではなく、金融商品等の価値の下落により、投資元本を割り込むことがあります。

投資顧問契約及び投資一任契約に対する報酬(投資顧問報酬)は総契約資産額等に対して最大年率 0.880%(税込)、契約に基づき成功報酬が発生する場合があります。また、お客さまがご購入いただく金融商品において手数料や間接的に負担する費用等が発生する場合がありますが、これらについては、お客さまとの契約内容によって異なりますので、事前に表示できません。

投資顧問契約等を締結される際には、事前に契約締結前交付書面等をよくご覧下さい。

商号等 SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 449 号
加入協会 一般社団法人日本投資顧問業協会